

令和6年度 スポーツ推進事業評価

令和6年11月末現在

資料 - 2

【第五次総合計画上の区分】
第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

〔評価等の凡例〕 【実績】 Aー成果があった Bー少し成果があった Cーあまり成果がなかった Dーまったく成果がなかった
【中間】 ○ー事業継続中 △ー事業実施予定 ー事業中止

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1.生涯学習の推進	1	町スポーツ・レクリエーション祭(スポネットせいらう)	(対象)	全町民	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	500	1,200	240	A	子どもたちから高齢者まで、年齢を問わず誰もが気軽にできる軽スポーツを実施。多くの方が参加。	実施種目の選定及び協力団体との関わりについてスポーツ推進委員と協議しながら進める。	主管:スポーツ推進委員 10月14日開催
			(目的・内容)	全町民を対象とした一大スポーツイベント。このイベントを通して住民にスポーツの楽しさを実感してもらうとともに、住民の健康の増進と交流の促進を図る。 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	スポネットせいらうに委託(消耗品費、謝礼等)												
	2	町内オリエンテーリング	(対象)	小学5～6年生	開催回数(回)	1		0	入場者数(人)	50	13	26	△			主管:スポーツ推進委員 時期未定
			(目的・内容)	オリエンテーリングを通じてスポーツ体験や町内に立地の歴史文化財等を知ること、健康増進、助け合い、愛郷心を育む。 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	ー												
	3	障がい者スポーツ(スポネットせいらう)	(対象)	障がい者、健常者	開催回数(回)	11			参加者数(人)	700			○			①障がい者バレーボール大会5月4日190名参加 ②バラスポーツ大会(ポッチャ交流・体験会)6月30日64名参加 ③バラスポーツ教室8回予定
			(目的・内容)	障がい者、健常者関係なくできるスポーツを実施し、スポーツの楽しさを実感してもらうとともに、住民の健康の増進と交流の促進を図る。 ※障がい者スポーツ大会誘致及び障がい者スポーツの調査研究 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	スポネットせいらう委託料に含む(消耗品費、審判・講師謝礼)												
	4	スポーツ少年団	(対象)	各小学校・中学校の児童・生徒	活動団体数	10	10	100	団員数(人)	260	272	105	○	スポーツに親しむ子どもの受け皿として重要である。		例年の団体の活動のほかに入団式や交流会を実施。
			(目的・内容)	スポーツを通して子どもたちの心身の健康と交流を図る。							※10月末時点					
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	(580千円)												

第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)					
1 生涯学習の推進	5	ジュニア競技スポーツクラブ育成事業(フェンシング)	(対象)	ジュニアフェンシング競技者	事業開催数(回)	90		0	参加者数(人)	10	6	60	○	県の強化指定を受け、競技の普及と強化を行っている。成果として、好成績を収める選手がいる。	引き続き実施していくが、普及活動を進める。	
			(目的・内容)	フェンシング競技の普及・強化と、子どもたちの健全育成に資する。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	負担金補助及び交付金(336千円) ※県補助金206千円												
	6	スポーツエキスパート活用事業(中学校運動部活動指導者派遣事業)	(対象)	中学校運動部活動指導者	種目団体数	1	1	100	のべ参加者数(人)	3,000	2,968	99	○	部活動の在り方が見直されているなか、学校(教諭)の負担軽減及び指導内容の充実など期待が大きい。	引き続き実施。	
			(目的・内容)	スポーツ指導者の活動機会の確保と中学校運動部活動の競技力の向上を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	報償費(344千円)												
	7	聖籠町親善剣道大会(広域事業)	(対象)	町内の少年少女剣士	開催回数(回)	1		0	参加者数(人)	800			△			12月1日開催予定 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)
			(目的・内容)	町の少年少女剣士の健全な心身の育成と技術力の向上、併せて県内の少年少女剣士との交流を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	需用費(消耗品費39千円)												
8	スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)	(対象)	町民	開催回数(回)	336		0	参加者数(人)	4,800			○		当町の子どもから大人までスポーツ事業の中心となるものである。今後もスポーツ振興のため継続したい。		
		(目的・内容)	住民のニーズを的確にとらえ、スポーツを身近に感じられるよう、有効なスポーツ機会を提供し、人的交流・健康増進を図る。 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)													
		(予算科目)	保健体育総務費													
		(主な経費)	委託料(15,410,000円) 太極拳、おやすみヨガ、ヨガ教室(屋の部)、走るの好きっ子(陸上)、ジュニアバドミントン、体操、バラスポーツ教室 聖籠町学童野球大会、はまなす杯中学生ソフトテニス大会、中学校選抜バスケット大会、バラスポーツ大会													

第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)					
1 生涯学習の推進	9	スポーツ振興業務委託事業(アルビレックス新潟)	(対象)	園児・小学生・中学生 等	開催回数(回)	30	30	100	参加者数(人)	1,500			○		プロ選手からの指導や町民招待観戦等、町内のスポーツ意識の向上の一助となっているので、今後も継続したい。	・楽しいスポーツ教室 6回 ・サッカーチーム指導 3回 ・早く走るコツ講座 9回 ・放課後教室 12回 ・町民招待観戦
			(目的・内容)	プロスポーツとの連携により、プロ選手からの直接指導やスポーツ教室等を経験することで、住民のスポーツ意識の高揚を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	委託料(4,000千円) 楽しいスポーツ教室 / サッカーチーム指導 / 速く走るコツ講座 / 放課後教室 / 町民招待観戦 / 町スポーツレクリエーション祭												
	10	聖籠町芸術・スポーツ文化振興奨励金等交付事業	(対象)	芸術・スポーツ分野において活躍する個人・団体	申請件数	78	21	27	交付額	800,000	210,000	26	○	コロナによる規制も解除となり、前年度よりも交付の実績が増加している。	令和3年度末に交付内容の見直しを実施した。 スポーツ少年団、文化団体への奨励金は補助金へ移行	令和5年度 59人 令和4年度 46人 令和3年度 34人 令和2年度 14人 令和元年度 80人 平成30年度 113人 平成29年度 89人 コロナ禍の影響により対象大会が減少したが、徐々に増加している。
			(目的・内容)	優れた技能を有し、又は挑戦・活躍する町民等を対象に奨励金等を予算の範囲内で交付することにより、もって更なる技能向上・活躍を支援し、日本及び世界で活躍する町民等の育成を図り、町の社会教育に係る芸術・スポーツ文化の発展に寄与する。												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	報償費(1,280千円) 国際大会 80千円 全国大会 10千円(個人) / 100千円(団体)												
	11	スポーツ推進委員	(対象)	スポーツ推進委員(15名)	活動回数(回)	6		0	参加者数(人)				○			スポネットせいらうに一部委託 協力事業:スポレク祭、ナイトウォーク、オリエンテーリング
			(目的・内容)	町のスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	スポネットせいらう委託料に含む(報酬、旅費、需用費)												
	12	体育施設開放事業	(対象)	町スポーツ登録団体等	開催日数(日)	306	206	67	施設利用人数	60,000	60,812	101	○	町民等の健康増進の提供のため町内11施設を開放している。年2回の調整会議を行い、利用促進を図っている。	引き続き実施。	
			(目的・内容)	身近に、気軽にスポーツを楽しむ場を提供するため、学校を含めた体育施設の開放を行い、広域利用の促進を含めた施設の利用促進を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	—												

第3章 未来を創る子どもの育成
 V 人生100年時代の学び
 1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1 生涯学習の推進	13	スポアイランド 無料開放エリア設置 (体育施設開放事業)	(対象)	家族等	開催回数(回)	-	-	-	参加者数(人)	-	-	-	A	特に費用はかかっていない。開放日を休館日以外に拡大。開放日には親子で遊ぶ姿が見えた。	好評のため現在エリアの1/4を開放しているが、今後このエリアを拡大するか検討の余地あり。ただし、昨今の猛暑により芝の育成に陰りが見受けられるほか、熱中症対策から開放日を休館日以外開放から休館日及び毎週〇曜日以外開放と日数を減らす必要も考えられる。	スポアイランドを昨年度までは、日にちを決め無料開放していたところを今年度からいつでも遊べるように通年、一部エリア(1/4)を開放 11月末で芝養生の為終了
			(目的・内容)	普段サッカーの使用目的以外では立ち入り禁止にし、サッカー場として整備しているスポアイランド聖籠をサッカーをしなくても入場することができ芝生の上で遊ぶなど交流を図る												
			(予算科目)	社会体育施設費												
			(主な経費)	特になし												